

全国審判講習会筆記テスト過去問題集(2019年度版)

以下の設問のうち正しいものには○を、誤っているものには×を()内に記入せよ。

問題		回答
21	走者二塁・三塁のとき、セットポジションをとった投手が、軸足が投手板についたまま、二塁へ偽投した後、三塁へけん制球を投げた。規則違反ではない。	()
	※ より明確に質問を理解できるよう問題原文を手直してあります。	
22	1アウト、走者満塁、ボールカウント3B—1S。ボークの投球が高めに外れ、打者が打たなかった。得点1、1アウト、走者二・三塁、ボールカウント3B—1Sで打ち直す。	()
23	走者一塁のとき、投手が投手板をまたいだままストレッチを始めたが、ボールを落とした。投手は投手板に触れていないので、規則違反ではない。	()
24	7回を終えて2対1で先攻チームがリードしていた。8回の表、先攻チームが1点を取り、その裏の後攻チームが得点しないうちに、雷雨のため球審が試合の打ち切りを命じた。3対1で先攻チームの勝ちである。	()
25	打球が偶然に捕手のはずしたマスクにフェア地域で触れた。ボールインプレイである。	()